

箱根組ニュース

第330号 2020年8月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

奥多摩三山の**大岳山**、奥多摩駅から**鋸尾根**を登る**ルート**に**挑戦**。

手ごたえ十分だった！

7月19日(日)、JR東京駅発6時3分の中央特快高尾行きに乗車。立川で6時52分発の青梅行きにのり、青梅で7時30分発の奥多摩行きに乗り換える。

梅雨時なので雨も覚悟だったが、車窓からは山並みに青空が広がってきて期待は膨らんだ。

8時13分、奥多摩駅に到着。降り立ったのは、佐藤、奥村、三田村、西尾、有倉、神吉、戸丸の7名。改札を出て左側の広場で身支度とストレッチ。トイレがともきれいになっていて驚いた。

8時30分出発。駅前を左に、南方向に歩き出す。信号のある青梅街道を横切り直進する。左には以前よく温泉を利用した旅館の玉翠荘がある。多摩川に架かる昭和橋を渡る。橋の上で右の上流側を見下ろすと川で泳いでいるグループがある。大きな焚火をしているので冷えた体を温めるためだろう。それにしても冷たい水だと思ふ。

8時40分、橋を渡った右側が登山口だ。今日の先頭は佐藤さん。すぐに案内

の標識がある。左方向、愛宕山、鋸山、大岳山とある。真つすぐ川沿い方向は氷川溪谷から奥多摩駅とある。短い階段を上ると右側に東屋。昔ここでそうめんをやった記憶がある。緑の中を少し登ってゆくと目の前に急な階段が現れる。階段の前で一呼吸。佐藤さんによると187段だったようだ。この日はなぜか意外に登る人が多くて我々を追い越してゆく。目の前すぐ上に五重塔が現れる。

9時8分、愛宕神社。お詣りをして出発。短い階段を降りて山道に戻る。いったん車道になるがそのまま直進する。

9時20分、右側に鋸山の標識があり小さい階段を上る。ここからは山道だ。穏やかな道、植林地の下草の緑がきれいだ。

10時2分、岩交じりの道になる。鋸尾根という雰囲気を感じられる。

10時12分、階段を上ると小さな祠と烏天狗らしき二つの石像がある。いったん下るが、このあたりから岩場が険しく慎重に通過する。鞍部を通過するとまた上りの鉄の階段。木の根も多く歩きに

と鳥天狗らしき二つの石像がある。いったん下るが、このあたりから岩場が険しく慎重に通過する。鞍部を通過するとまた上りの鉄の階段。木の根も多く歩きに

と鳥天狗らしき二つの石像がある。いったん下るが、このあたりから岩場が険しく慎重に通過する。鞍部を通過するとまた上りの鉄の階段。木の根も多く歩きに



く。10時27分、右、鎖場経由のルートだが、岩場を避けて左のルートを選んで進む。

10時31分、右の鎖場からの道と合流する。以前この鎖場を下った記憶がある。標識がありここは奥多摩から3,1キロ。愛宕山から1,7キロだ。これから行く鋸山までは2,3キロ、大岳山は5,6キロある。木漏れ日の穏やかな植林地を進む。

11時20分、緑のきれいな尾根になる。木の根と岩が多くなる。

浅間嶺下見の交通費、3430円を支出しました。

11時28分、左側に手すりの付いた鉄の階段を上る。

現在の収支	
繰越	32028 円
支出	
浅間嶺下見	3430 円
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	27198 円

切手残数	
84円切手	116枚
40円切手	131枚

11時49分、1046.7m地点の様だ、三角点がある。急な尾根を登ってゆく。12時7分、鋸山到着。大岳まで頑張った。朝食と思っていたが、急な坂を上って体力

も使った上に時間も時間なのでここで昼食ということにする。林のなかで展望もないうがベンチがいくつもあるのいい会場だ。ドリップコーヒーがおいしい。休憩中何人もここに立ち寄る人がいた。中にはイギリスの人も。12時55分、出発。やはり休憩は体力を戻してくれる。まずは急な岩場が現れる。1時8分、右に御前山への分岐が現れる。以前は御前山からここを曲がって奥多摩に下りたのだ。若干険しい岩場もあるが、ここからはほとんどが快適な尾根道が続く。2時6分、右、馬頭刈尾根、左、大岳山、御岳山方面の分岐、これを左へ進む。2時26分、鎖の付いたルートが現れる。いよいよ大岳山が近いらしい。左に海沢探勝路方面の下りルートのように木が沢山置いてあって通行止めの表示だ。大きな岩をよけながらのルートもある。

8月16日(日) 浅間嶺(903c.m.)

らくだコース 歩行2時間20分

(上り1時間20分、下り1時間)

※電車バス内、混雑時はマスクを使用しましょう。

浅間尾根からの絶景が見られます。

武蔵五日市駅から数馬行バスで約40分の人里(へんぼり)下車。ここから人里峠を経て、浅間嶺へ。下山は上川乗バス停を目指します。

○持ち物 マスク(予備マスク)、お弁当、飲料水、傘、雨具、スパッツ、非常食、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、痛み止めスプレーなど、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 8月14日(金)までに

集合 8月16日(日) JR東京駅 中央線
中央特快 7:07 発 高尾行(前から3両目)
途中駅発 神田 7:09 御茶ノ水 7:12
四ツ谷 7:16 新宿(12番線) 7:21
中野 7:26 三鷹 7:34 国分寺 7:41
立川 7:47(青梅線乗換) 7:57 奥多摩行き
拝島 8:09(五日市線乗換) 8:13
武蔵五日市 8:34 着 (バス乗換)
9:00 数馬行 9:41 人里下車
(帰り上川乗換バス 15:08 16:23 17:47)
交通費 東京~武蔵五日市 往復 1870 円
武蔵五日市~人里 840 円
上川乗~武蔵五日市 720 円

●お申し込み・お問い合わせ
Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



2時43分、突き当りに標識がある。右、御岳山、馬頭刈山方面。左、鋸山、大岳山とある。当然に左の大岳山へ向かうが、鋸山から来たのに鋸山とはと、はてなと思いつながら進む。数段の石段を上る。

2時45分、大岳山頂に到着。なかなかの長いルートだった。あいにく雲が広がって富士山は見えないが、赤とんぼが迎えてくれた。

3時13分、下山開始。山頂のルートの不思議はまた今度の課題として下りて行く。大きな岩がごろごろして歩いていくところを慎重に下る。

3時30分、大岳神社。すぐに標識が

現れる。左、御岳山。右、馬頭刈山。右方向へ進む。真下には大岳山荘、休業中らしい。道は右上から左下に落ちている斜面に張り付くようなルートだ。崖部分には橋が付いている。

3時44分、御前山、鋸山方向からの道と合わさる。分岐にある木の下に石塔がある。

4時4分、右、白倉バス停方向に下りて行く。急な下りもある。途中、ヤマユリの大輪がこちらを向いて咲いている。

5時20分、いったん車道に出るがすぐにまた右にある山道に入って下りて行く。

5時24分、木の鳥居をくぐる。くぐった右には大きな庚申様の石碑がある。

5時29分、沢を渡ると車道に出る。目の前に建物が見える。大嶽神社だ。白倉バス停の標識に従って車道の分岐を右に下りて行く。作業をしている女性にバス停を聞くと大通りを右に行くそうですよとの事。疲れた体にはすぐとは思われない。

5時45分、白倉バス停着。実際には少し行きすぎたようだ。もう少し手前にバス停横に出る道があることが後でわかった。

ラッキーだったのは目の前に酒屋さんがあったこと。冷たいビールをいただ

くことができた。トイレもお借り³でき、着替えてさっぱりしてバスに乗った。

武蔵五日市駅のコンビニでまた冷たい飲み物をいただいて一日を締めくく

る。限界直前まで十分歩いて大満足の一日でした。

※新型コロナウイルス対応

●マスクの使用について

電車、バス、タクシーの車内、また混雑している所では必ずマスクを付けましょう。

●消毒用アルコール等も利用して安全を確保しましょう。

山を歩いているときはお互いの距離を開けて歩きましょう。

屋食時もあまり密集しないように気を付けてみましょう。

○ニュースの郵送を終了します。

箱根組も30年近い歴史になりました。インターネットの時代になり箱根組も多くの方がホームページを見られるようになっていきます。

今回を最後にニュースの郵送を終わりにします。

どうしてもという方はお知らせください。

